

災害時における人命救助活動への協力に関する協定締結式

日時：令和8年1月8日（木）

午前10時20分から

場所：大府市役所 1階市民健康ロビー

次 第

1 開 式

2 出席者紹介

3 あいさつ

大府市

大府市長 岡村 秀人

一般社団法人 捜索救助犬 HDS K9 愛知

代表理事 杉原 久依 様

特定非営利活動法人 日本レスキュー協会

理事長 多田 修 様

4 協定内容

5 協定締結

6 記念写真撮影

7 救助犬によるデモンストレーション訓練

8 閉 式

災害時における人命救助活動への協力に関する協定について

1 協定締結の目的

近年頻発する地震・豪雨・土砂災害では、発災直後の初動対応が人命救助の成否を大きく左右します。本協定は、倒壊建物・土砂崩れなど人が到達しにくい現場で高い能力を発揮する救助犬の専門性を大府市の災害対応に組み込むことにより、要救助者の早期発見と初動対応の迅速化を実現することを目的としています。

2 協定締結の背景

公的機関による搜索活動には、危険性・作業範囲・人的制約から限界があります。

救助犬は、

- 卓越した嗅覚
- 高い機動力
- 瓦礫・狭所への進入能力が高い



3 協定締結先

- 一般社団法人 捜索救助犬 HDS K9 愛知
- 特定非営利活動法人 日本レスキュー協会

4 協定の主な内容

(1) 災害発生時の連携

- 大規模災害時に市が両団体へ出動要請
- 救助犬チームが現場で搜索活動を実施

(2) 平時の連携

- 市と両団体の合同訓練の実施
- 災害対応に関する情報共有
- 市職員向け研修への協力

(3) 市民向け啓発活動

- 防災イベントで救助犬デモンストレーション
- 学校・地域での防災講座等への協力

5 期待される効果

- 要救助者の早期発見率の向上
- 初動対応の迅速化による人命救助率の向上
- 公的機関と民間団体が協働する連携型防災体制の構築
- 市民の防災意識向上と安心感の醸成
- 「災害に強いまち・大府」を実現するための実効性ある体制整備



協定締結先 団体紹介

■ 一般社団法人 捜索救助犬 HDS K9 愛知

搜索救助犬 HDS K9

【概要】

HDS K9 愛知は、2018 年に愛知県豊橋市で設立された救助犬チームです。

「犬と共に人の命を守る」を理念に、救助犬の育成・訓練、災害現場への出動、地域防災啓発など幅広い活動を行っています。

【主な活動】

- 災害救助犬の育成・派遣

- 愛知県を中心に訓練や防災イベントなどにも多数参加しており、地域の防災力向上に大きく貢献

【強み】

- 瓦礫、狭所、傾斜地など過酷な現場に対応できる救助犬を育成

- ハンドラーとの高い連携力

- 県警や自治体との協働実績に裏付けられた信頼性

【出動実績】

令和 3 年の熱海市・伊豆山の土石流災害、令和 6 年の能登半島地震、能登半島豪雨、蒲郡市の土砂災害など。



■ 特定非営利活動法人 日本レスキュー協会



【概要】

日本レスキュー協会は、1995 年に兵庫県伊丹市発足した、日本を代表する救助犬育成・派遣団体。

「犬とともに社会に貢献する」を理念に、災害救助犬・セラピードッグの育成、被災地支援、動物福祉まで幅広く社会貢献活動を展開。

【主な活動】

- 災害救助犬の育成・派遣

- セラピードッグの育成・派遣

- 動物福祉・保護・愛護活動

【強み】

- 日本最多クラスの救助犬育成・派遣実績

- 國際水準の訓練メソッドを導入し、専門性の高い訓練環境を整備

- 全国の自治体・機関との協定実績が多数

【出動実績】

国内では新潟中越沖地震、東日本大震災、熊本地震、熱海市伊豆山土石流災害、能登半島地震、海外ではメキシコ、トルコ、アフガニスタン、ネパールでの地震の他、国内外を問わず多くの現場で活動。

